

2020年3月期 第2四半期決算発表 補足資料

2019年10月31日  
日本ガイシ株式会社

[セグメント間売上消去後]

□ は'19/4公表値

□ は'19/4公表値

	2019年3月期 第2四半期累計		2020年3月期 第2四半期累計		前年 同期比	2019年3月期 通期		2020年3月期 通期		前期比
	実績	構成比	実績	構成比		実績	構成比	見通し	構成比	
売上高合計	億円 2,282	100%	2,300 億円 2,198	100%	△4%	億円 4,635	100%	4,900 億円 4,500	100%	△3%
<海外売上高合計>	<1,644>	72%	<1,552>	71%	△6%	<3,294>	71%	<3,200>	71%	△3%
営業利益(%)	(16%) 357		270 (14%) 316		△11%	(14%) 647		700 (13%) 600		△7%
電力関連事業	242	11%	200 206	9%	△15%	498	11%	440 440	10%	△12%
営業利益(%)	(-) △31		△35 (-) △24		-	(-) △85		△55 (-) △55		-
セラミックス事業	1,226	54%	1,360 1,282	58%	+5%	2,514	54%	2,800 2,580	57%	+3%
営業利益(%)	(24%) 289		265 (24%) 309		+7%	(22%) 559		610 (22%) 580		+4%
エレクトロニクス事業	303	13%	280 283	13%	△7%	588	13%	600 560	12%	△5%
営業利益(%)	(1%) 3		0 (1%) 4		+35%	(-) △3		15 (2%) 10		-
プロセステクノロジー事業	511	22%	460 427	19%	△16%	1,034	22%	1,060 920	20%	△11%
営業利益(%)	(19%) 97		40 (6%) 27		△72%	(17%) 176		130 (7%) 65		△63%

	売上高比	売上高比	前年 同期比	売上高比	売上高比	前期比
経常利益(%)	342 (15%)	250 297 (14%)	△13%	644 (14%)	710 600 (13%)	△7%
親会社株主に帰属する 当期純利益(%)	247 (11%)	170 212 (10%)	△14%	355 (8%)	470 420 (9%)	+18%
ROE	-	-		7.6%	8.8%	
1株利益	76.78円	66.02円		110.35円	131.28円	
配当金(配当性向)	25円	25円		50円(45.3%)	50円(38.1%)	

為替レート(円/USD)

110

109

111

107

為替レート(円/EUR)

130

121

128

118

設備投資	508	22%	499	23%	△2%	1,053	23%	1,100	24%	+4%
減価償却費	172	8%	189	9%	+10%	357	8%	400	9%	+12%
研究開発費	106	5%	106	5%	+0%	233	5%	250	6%	+8%

**第2四半期累計期間の要点・・・対前年同期比減収・減益**

- ① 事業別業績概況(売上高、営業利益)
- 【電力関連】……………減収・赤字は前年同期並み
- ・がいし 国内は電力会社の設備投資抑制が続き需要が低調だったほか、海外は中国生産子会社の解散に伴う物量減により減収。
  - ・NAS 国内外共に出荷が低調。
- 【セラミックス】……………増収・増益
- ・自動車関連 乗用車販売台数の減少によりハニカムの出荷が減少した一方で、排ガス規制強化に伴い GPF(ガソリン・パーティキュレート・フィルター)やセンサー等の物量が増加し、増収・増益。
- 【エレクトロニクス】……………減収・利益は前年同期並み
- ・金属 米中貿易摩擦を背景に展伸材の需要が減少し減収。
  - ・双信電機 半導体製造装置や工作機械の市況低迷を背景に需要が減少し、減収・赤字。
- 【プロセステクノロジー】……………減収・減益
- ・半導体製造装置用製品 半導体メーカーの設備投資抑制を背景に需要が低迷し、減収・減益。
- ② 為替影響: 売上高△32億円、営業利益△5億円
- ・前年同期 110円→当期 109円/USD、130円→121円/EUR
- ③ 特別損失 固定資産減損損失 14億円(パッケージ 11億円、がいし 1億円ほか)

**通期 見通しの要点 …… 対前期比減収・減益の見通し**  
(4月公表値に対して売上・利益共に下方修正)

- ① 事業別業績概況(売上高、営業利益)
- 【電力関連】……………減収・赤字縮小
- ・がいし 間接スリム化、一部不採算製品の撤退を予定通り実施し、売上・利益共に4月公表値と同水準を見込む。
  - ・NAS 4月公表値より変化無く、低調で赤字が継続する見通し。
- 【セラミックス】……………増収・増益
- ・自動車関連 償却費・開発費が増加する一方で、GPFの需要が本格化し前期比増収・増益の見通し。4月公表値に対しては乗用車販売台数減等により全体では想定を大きく下回り、減収・減益。
- 【エレクトロニクス】……………減収、利益は微増
- ・金属/双信電機 米中貿易摩擦による市況回復の遅れから、減収の見通し。
- 【プロセステクノロジー】……………減収・減益
- ・半導体製造装置用製品 半導体設備投資の調整局面が継続し前期比減収・減益。足元で投資再開の兆しがあるが、本格的な回復時期は当初想定より遅れる見通し。
  - ・産業プロセス 国内外の電子・電子材料メーカーの設備投資抑制やリチウムイオン電池正極材用焼成炉の競合激化により加熱装置を中心に減収・減益の見通し。
- ② 為替影響: 売上高 △117億円、営業利益 △27億円
- ・前期 111円→当期 107円/USD、128円→118円/EUR  
(下期為替前提: 105円/USD、115円/EUR)
  - ・下期1円当たりの影響: USD(売上高6億円、営業利益2.2億円)  
EUR(売上高3億円、営業利益0.4億円)
- ③ 配当予想 中間25円を決議、期末25円の年間50円を予定。
- ④ 自己株式の取得及び消却を決議  
(上限7百万株、上限100億円、市場買付: 2019年11月1日から2020年2月21日まで)